

平成 22 年度 府中市環境審議会
第二分科会（第 3 回）

平成 22 年（2010 年）9 月 14 日（火）

午後 6:30～8:30

府中駅北第 2 庁舎 3 階 第 1 会議室

〈出席委員〉 6 名

増山弘子委員（第二分科会座長）、梅沢みどり委員、岩本祥子委員、大西郷子委員、
比留間吉郎委員、伊豆田 猛委員

〈欠席委員〉 2 名

荒木 茂委員、宮地 賢委員

〈事務局〉

加藤環境政策課長、遠藤環境政策課長補佐、佐藤環境改善係長、環境改善係海野職員
（株）建設技術研究所（コンサルタント）

〈次第〉

- 1 府中市地球温暖化対策地域推進計画答申案
（第 6 章について検討）
- 2 環境保全活動センター（仮称）について検討

〈議事概要〉

1. 挨拶

2. 議事

- 事務局 資料の変更点の説明
- 委員 資料においては、当面の間、「活動センター（仮称）」と記載する。
- 委員 記載順序の修正と、削除・修正・追加すべき文言がいくつかある。詳細は、後日、メールにて指示する。全般的に、計画の本文中には「説明」に類する記述は不要と考える。
- 分科会座長 細かい内容は別冊とするほうが良いと思う。
- 委員 市民に広く読んでもらいたい場合は、適当に説明が入っても良いと思う。どちらにするか？前半はすっきりさせても良いと思う。
- 事務局 一般的には、説明文を計画に記載していることも多い。
- 分科会座長 計画は、市民には配布するのか。計画の報告書のターゲットを明確にした方が良いと考える。
- 事務局 各戸に配布は予定していない。HP へのアップとなる。各施設への配布程度。
- 委員 P9 公共交通機関に自転車を入れて欲しい。天然ガスのコミュニティバスを追加して欲しい。
- 委員 実P4 市、都、国の取り組みの割合について何かアイデアがあるか？
- 事務局 第一分科会において、総排出量について、90年比15%削減という目標を設定している。削減の方策については、検討中である。
- 委員 「エコ活動支援制度」とは何か？
- 事務局 環境基本計画の見直し結果に基づいて入れている。次回、第1分科会で検討することになっている。
- 分科会座長 センターのあり方について議事を進める。
- 事務局 「あり方」の修正点を説明。
- 分科会座長 （仮称）を入れる？
- 事務局 あり方や規約には、一つ一つ（仮称）を入れる必要はないと思われる。
- 分科会座長 推進協議会はセンターの中に入ることになったと思うが。
- 委員 推進協議会とセンターの運営主体は異なる。
- 委員 組織を作る際は、通常、運営委員会の長がセンター長となる。幹事と運営委員の違いは？そもそも運営委員会と推進協議会の違いが分からない？運営委員会が兼ねれば良いのでは。
- 委員 センターの外に推進協議会があるのはおかしい。センターの計画は、センターが決めるものだと思う。

- 委員 推進協議会の役割が、センター以外のことも含むならわかる。
- 分科会座長 推進協議会はセンター以外のことも含む。協議会は、環境基本計画の全体を推進するものである。
- 事務局 H23は、センターの運営協議会で運営していくことになると思われる。センター一長等の組織は将来の姿と考えていただきたい。
- 分科会座長 既存の組織図にこだわらずに、ご議論頂きたい。運営協議会の母体を環境プロジェクトとすることも考えられるが、やや人が足りない。
- 事務局 当面のセンターの役割としては、イベント、環境学習、啓発事業を考えている。
- 委員 計画と協議会とセンターを並列の図を作り直してはどうか。
- 委員 図から協議会から抜いてしまっても良いと思う。
- 委員 推進協議会とセンターの設立委員会は別のほうが良い。
- 事務局 今年度は環境プロジェクトを中心として、それが来年度にそのままセンターの運営委員会になる形を私案として考えている。
- 分科会座長 支援体制のフローを削除またはあり方の後ろに持っていくことでどうか。
- 委員 図はカット。文章は、活動センターのことについて記載すればよい。協議会の存在を尊重した表現とする。
- 委員 審議会として、推進協議会を進めるための提言をする必要がある。審議会が推進協議会を兼ねても良いと思う。
- 委員 「5その他」はカットの方針が良いと考える。
- 事務局 規約は、設立準備委員会等で検討する。
- 委員 全体会における「規約」の扱いは、今後の検討の際のたたき台資料という位置付けとする。
- 委員 規約は、センター自身が設定すべきもの。第2部会からは、「規約を見直すこと」を提案する形でどうか。

以上